

中級日本語Ⅱ 文化比較プロジェクト 第一稿と発表のハンドアウト

文化比較プロジェクト 第一稿

950-1050 字。	第一段落、第二段落、第三段落、第五段落をタイプする。
表紙(cover sheet)	タイトル、セクション、名前、提出日、字数を書く。
第一段落	<p>Introduction</p> <p>トピックは何か、日本とどの国の文化を比較するか、どうしてこのトピックを選んだかを書く。</p> <p>(例) 私のトピックはアルバイトで、私はアメリカ出身だから、日本とアメリカの大学生のアルバイトを比較する。このトピックを選んだ理由は、日本の大学生のアルバイトがアメリカの大学生のアルバイトととても違って、日本人の大学生の考え方がよく分かると思うからだ。</p>
第二段落	<p>Summary of Japanese Culture</p> <p>選んだ(chosen)トピックについての日本文化の要約(summary)を書く。Write the summary of Japanese culture in reference to your points of comparison.</p>
第三段落	<p>Summary of Your Culture and Comparison</p> <p>自分の文化／国ではどうかを説明する。そして日本の文化と比較する(compare)。Write about your own culture in reference to your points of comparison. Make this paragraph parallel with the second paragraph.</p>
(第四段落)	This paragraph is not included in the first draft. It will be added later to the second draft.
第五段落	<p>Your opinions, thoughts, comments, and conclusion</p> <p>日本文化と自分の文化の違いや似ていることについて、なぜ違うか、なぜ似ているかを考えて、自分の意見(opinion)、感想(impressions, thoughts, comments)、結論(conclusion)を書く。</p>

文化比較プロジェクト 第一稿 評価基準(First Draft Grading Criteria)

内容(content)		
	第一段落 (トピック、比較する国、理由)	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
	第二段落 (日本の文化の説明)	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
	第三段落 (自分の文化の説明・比較)	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
	第五段落 (自分の意見・感想・結論)	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
	構成(organization)	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
語彙(vocabulary)		
	適切な語彙の使用	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
	多様な語彙の使用	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
文法(grammar)		
	助詞	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
	動詞・形容詞の活用、文型	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
書式(format)		
	表紙、ダブルスペース、タイピングエラー、ハンドアウト・文法チェックリスト添付、自己評価表記入	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
合計		／25 点

文化比較プロジェクト第一稿の発表

<p>3分以内。 カードを使ってもいいですが、スクリプトを読んではいけません。話す時はクラスメートを見て話します。 パワーポイントなどの視覚資料(visual aids)を使う。スライドは4枚以下。1枚のスライドには3～5の情報を書く。</p>	
スライド1	<p>タイトルスライド。 プロジェクトのタイトル、セクション、名前、発表の日付を書く。</p>
スライド2	<p>第一段落のスライド。(1)トピックは何か、(2)日本とどの国を比較するか、(3)なぜそのトピックを選んだか、を書く。</p>
スライド3	<p>第二段落と第三段落のスライド。日本と自分の国の比較を表にまとめる(summarize the points of comparison in a table format)。</p>
スライド4	<p>第五段落のスライド。日本文化と自分の文化の違いや似ていることについて、なぜ違うか、なぜ似ているかを考えて、自分の意見(opinion)、感想(impressions, thoughts, comments)、結論(conclusion)を書く。</p>

中級日本語Ⅱ 文化比較プロジェクト第一稿 発表評価表

セクション \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

評価基準		評点					
発表の仕方							
	スライド1（タイトル、セクション、名前、日付）	0	0.5	1.0			
	スライド2 <small>だいいちだんらく</small> 第一段落（トピック、比較、理由）	0	0.5	1.0	1.5	2.0	
	スライド3 <small>だいにだんらく</small> <small>だいさんだんらく</small> 第二段落と第三段落（日本と自国の比較）	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
	スライド4 <small>だいごだんらく</small> 第五段落（意見、感想、結論）	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
	聞いている人を見ているか。	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
	発表らしい話し方、姿勢	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
	制限時間内	0	0.5	1.0			
視聴覚資料							
	見やすさ、分かりやすさ（文字、表、単語リスト）	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
	効果的な使い方	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
日本語力							
	正確さ・適切さ	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
	流暢さ	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
	語彙や表現の多様性、上手な使い方	0	0.5	1.0			
合計		/25 点					

# 日本とアメリカの大学生のアルバイトの比較 (第一稿)

セクション A

ジョン・ドウ

20xx 年 x 月 xx 日

1050 字

セクション: \_\_\_\_\_ 名前: \_\_\_\_\_

### 1. Requirements for the First Draft

Your first draft should

- (1) have the cover sheet.
- (2) be written in だ体(=informal form).
- (3) be typed, double spaced, at least one inch margin on all sides.
- (4) be 950-1050 characters long.
- (5) have the self-evaluation sheet on the next page filled in
- (6) print out the EJ/IJ-I grammar checklist from Blackboard and check the grammar items that you used.
- (7) have the followings attached
  - cover sheet
  - this handout
  - self-evaluation sheet on the next page
  - EJ/IJ-I grammar checklist

\*You should check these requirements before you turn in your first draft.

2. 内容(content)、構成(organization)、文法、言葉の使い方について、難しかったことを、英語でも日本語でもいいから、書く。

---



---



---

### 3. 第一稿評価基準(First Draft Grading Criteria)

内容(content)		
	第一段落（トピック、比較する国、理由）	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
	第二段落（日本の文化の説明）	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
	第三段落（自分の文化の説明・比較）	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
	第五段落（自分の意見・感想・結論）	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
	構成(organization)	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2 - 2.5 - 3
語彙(vocabulary)		
	適切な語彙の使用	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
	多様な語彙の使用	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
文法(grammar)		
	助詞	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
	動詞・形容詞の活用、文型	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
書式(format)		
	表紙、ダブルスペース、タイピングエラー、ハンドアウト・文法チェックリスト添付、自己評価表記入	0 - 0.5 - 1 - 1.5 - 2
合計		／25 点

だいいつこうじ こひょうかひょう  
第一稿自己評価表

(SELF-EVALUATION SHEET FOR THE FIRST DRAFT)

1. 次の1～3について、間違い(errors)をなおす。(Correct errors in the following three categories.)

(1)Tense, Conjugation の間違い

(2)漢字の間違い

(3)文体(style)の間違い (End all your sentences with だ体 (=informal form) of verbs and adjectives; in other words, do not end your sentences with です, でした, ます, ません, ました, ませんでした and the like. See the course packet pp. 30, 38, and 299 for a detailed illustration of だ体.)

2. 次の表現や文法を使い、チェックして、作文には下線を引く。(Use all the expressions/grammar in the following list and check them in the box. In addition, underline them in your essay.)

Check here.	Expression/ Grammar	Meaning	Example Sentence
	～では	in ~ (place) compared to another place	私の国では、おじぎをしないで、握手(handshake)をする。
	～では、～そう	I hear that in ~, ...	韓国では、敬語を使うが、相手の目を見て話すそう。
	～によると、～そう	according to ~	ロペスさんによると、メキシコではお天気の話をしてないそう。
	私の意見では、～。	In my opinion,, ...	私の意見では、知らない人にもあいさつをしたほうがいい。
	～によって違う	differ depending on ~	あいさつの仕方は、国によってちがう (differ depending on countries)。
	～と同じく、	like ~	日本と同じく (like Japan)、韓国でもおじぎをする。
	～と違い、	unlike ~	日本と違い (unlike Japan)、アメリカではおじぎをしない。
	～について	about ~	あいさつ言葉について、ディスカッションをした。
	けれどもでもが	although but but	韓国ではおじぎをするけれども、相手の目を見て話す。韓国ではおじぎをする。でも、相手の目を見て話す。韓国ではおじぎをするが、相手の目を見て話す。
	XはYほど～ない	X is not as ~ as Y.	アメリカ人は、日本人ほど名刺を使わない。
	たしかに～	certainly ~ (but ...) to be sure ~ (but ...)	たしかに日本人はよくあいづちをうつ。でも、あまりアイコンタクトをしない。
	～でもいい ～てはいけない	may must not	日本語では、たくさんあいづちをうってもいい。でも、英語ではたくさんあいづちをうってはいけない。
	potential form	can	英語では、毎日会う人に How are you? と言える (can say) が、日本語では、「お元気ですか。」とは言えない (cannot say)。